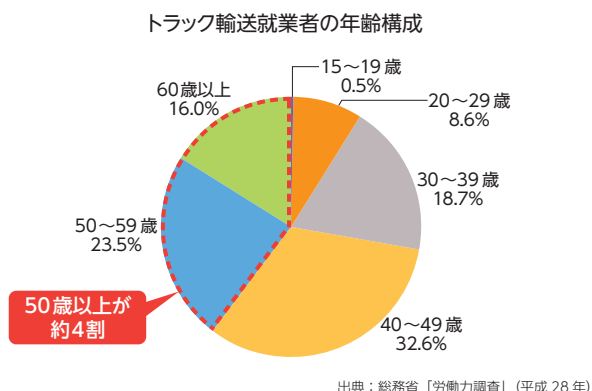
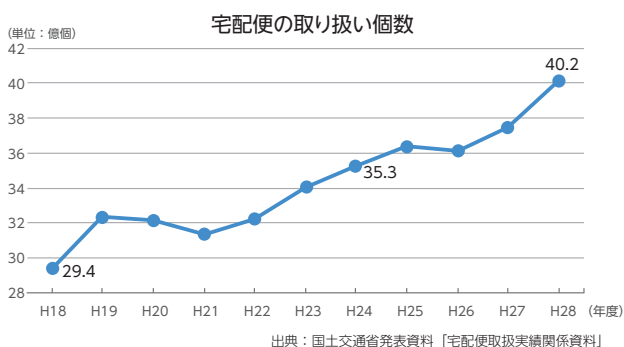
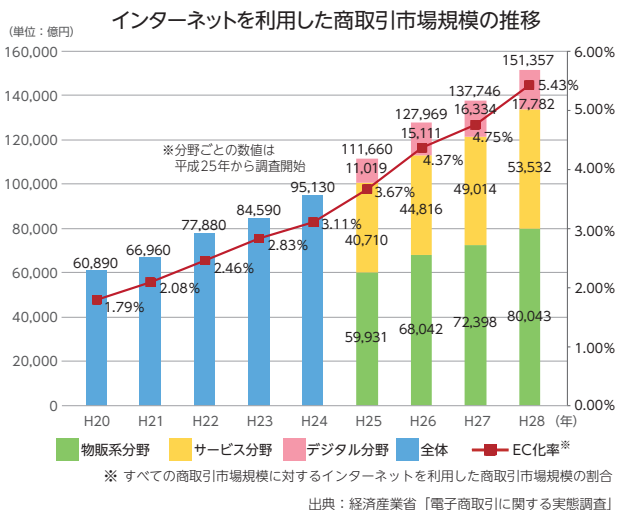


宅配便の再配達削減に向けた取り組み

自宅に居ながら買い物ができ、自宅や希望送付先まで運んでもらえる。そして、配達される日に不在だった場合でも、不在通知票などから何度でも無料で届けてもらえる…。

通信販売はとても便利です。皆さまも利用されたことがあると思います。便利な通信販売、豊富な品ぞろえが魅力かと思いますが、「欲しい日に欲しい物を届けてくれる」ということも魅力の一つではないでしょうか。これを支えているのは、実際に商品を運ぶ宅配事業者です。宅配事業者の存在があってこそその便利さともいえます。

いま、その宅配事業者が悲鳴を上げています。



通信販売の利用は年々伸びており、経済産業省の調査によると、市場規模は平成28年には15.1兆円に達し、この5年間で約1.8倍の規模に拡大しています。これに伴い、国内の宅配便の取り扱い個数も増加しており、平成24年度は約35億個でしたが、平成28年度には40億個を超えています。

このような状況の中、約2割を占めると想定される再配達の取り扱い個数も増加しているものと考えられます。国土交通省が平成27年に試算した結果によると、この再配達に費やされている時間は年間で1.8億時間にも上り、これを労働力に換算すると、年間約9万人のドライバーの労働力に相当します。一方で、商品を実際に届ける「配送」を支えるトラックドライバーの数は年々減少し、高齢化も進んでいます。ドライバー不足が顕在化する中で、持続可能な宅配便サービスを着実に確保するためには、再配達削減が急務となっています。

また、この再配達によって排出されるCO₂はおよそ年間42万トンと試算されており、環境負荷の面からも、対応を考えなくてはなりません。

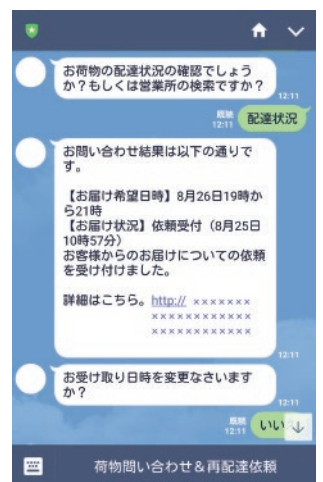
再配達削減に向けた取り組み

国土交通省はこの問題に対応するため、有識者や物流関係者のみならず、通信販売関係者やコンビニエンスストア(コンビニ)関係者など、幅広い分野の委員で構成された「**宅配の再配達の削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会**」を平成27年度に開催し、再配達の削減に向けた具体策として4つの提言を取りまとめました。

1つ目は「**既存の枠組みを超えた関係者間の連携の促進**」です。現在、再配達の削減に向け宅配・通販事業者など企業ごとに創意工夫を凝らして対応しているところですが、それにとどまらず各企業における既存の取り組みへの相互利用など、事業者間で連携していく必要があります。

2つ目は「**消費者(受取人)と宅配事業者・通販事業者との間のコミュニケーションの強化**」です。例えばスマートフォンから簡単に受け取り日時などの変更ができるアプリの活用などで、既に一部の事業者がアプリを提供しています。

3つ目は「**消費者(受取人)の受取への積極的参加の推**



LINEを活用した荷物追跡・日時変更の例

進のための環境整備」です。例えば再配達削減に協力した人に通販サイトのポイントを付与するなど考えられ、一部の通販事業者と宅配事業者が共同で、コンビニ受け取りや宅配事業者の窓口での受け取りを行った際に、ポイントを付与するキャンペーンを実施しています。

4つ目は「**受取方法の更なる多様化・利便性向上等の新たな取組の促進**」です。宅配事業者の窓口やコンビニでの受け取りのほか、いつでも好きな時に荷物を受け取ることができる宅配ボックスの設置が進んでいます。また、ニーズの高まりを受け、本年度から環境省と連携して、駅やコンビニなどの公共スペースに設置し、複数の宅配事業者かつどなたでもご利用いただける「オープン型宅配ボックス」の設置に対する支援を行っています。

このオープン型宅配ボックスは、再配達の受け取りに利用できるほか、一部通販サイトからは送付先として直接指定することも可能となっており、好きな時に、人を介さずに受け取ることができます。無料のメンバーズサービスへ登録すれば、どなたでも、無料でご利用いただけます。便利で簡単な宅配ボックスを、ぜひご利用ください。



オープン型宅配ボックスの設置例
(駅に設置されているPUDOステーション)

また、環境省や経済産業省と連携して「**COOL CHOICE できるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン**」を実施しています。キャンペーンサイトでは、賛同企業・団体による再配達削減のための具体的な取り組みを紹介しています。併せてご覧ください。

1回で受け取りませんか [検索](#)

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/butsuryu/>

国土交通省では、宅配便の再配達削減に向け、各種政策や情報発信を引き続き行っていきます。

利便性の高い宅配便サービスの持続性の確保および一層の利便性の向上などの観点から、皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

皆さまへのお願い

さまざまな社会経済活動、そして私たちの生活は、宅配便を含めた物流システムによって支えられ、成り立っています。

一方、宅配便の再配達は、環境負荷の増加や社会的損失を招いていることから、再配達削減に向けた新たな取り組みが必要です。皆さまにもこうした社会的損失について、幅広く理解をしていただくとともに、問題解決にご協力いただければと思います。

具体的には…

送るときにできること

- 1 相手に事前に伝える
- 2 相手の受け取りやすい日時を確認する

注文するときにできること

- 1 受け取る時間帯を指定
- 2 受け取る場所を指定

受け取るときにできること

- 1 宅配事業者などの受け取り通知サービスを利用する
- 2 再配達で、受け取る場所を指定
(コンビニ、宅配ボックスなど)



COOL CHOICE
できるだけ1回で受け取りませんか
キャンペーン
～みんなで宅配便再配達防止に取り組むプロジェクト～

再配達のトラックから排出されるCO₂はおよそ **42万ト**
国土交通省の目標とする削減率を達成する2024年度までに削減

宅配便の再配達により消費されている労働力は **1.8億時間**
これは、10人のうち1人が毎日1日中再配達を担当している計算になります。

1 受け取る時間帯を指定 2 受け取る場所を指定

Webサイトにもお知らせがなされています。
https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/butsuryu/

国土交通省 環境省 経済産業省